

ズワイガニ初水揚げ 松川浦漁港



相馬の冬の味覚の一つであるズワイガニが1月18日、松川浦漁港に今季初水揚げされました。

前日の夜に出漁した底引き網船10隻は、18日の朝、松川浦漁港にズワイガニを2・9トン水揚げ。

オスは甲羅の大きさ、メスは成長度合いなどを基準に選別された後、仲買人による競りが行われ、全国各地へ流通されました。

千客万来館の利活用を要望

相馬商工会議所など

千客万来館の利活用に係る要望書の提出は1月20日、市役所で行われ、草野清貴相馬商工会議所会頭ら4人が訪れました。

当日は、街中のにぎわいづくりを目的に、千客万来館を市民が気軽に集える場として利活用することを求める要望書が提出されました。

要望書を受け取った立谷市長は「同館は市外から訪れた方に観光情報などを提供することを目的として建設されているため、市民の憩いの場として利活用するのであれば、

感謝状と委嘱状の伝達式 人権擁護委員



人権擁護委員の感謝状と委嘱状伝達式は1月19日、市役所で行われました。

人権擁護委員は、地域住民の人権が侵害されないよう常に注意を払い、もし人権が侵害されたときは、相談を受け、被害者救済のため適切な処置を行うことを目的に法務大臣が委嘱。

当日は、任期満了となった今野覺治さんと中島寛さんに感謝状、新任人権擁護委員の渡部昭一さんと阿部和夫さんに委嘱状が交付されました。

鵜ノ尾埼灯台を擬人化

あかり 燈の守り人キャラクター贈呈式

燈の守り人キャラクター贈呈式は1月23日、市役所で行われ、柴田英知「燈の守り人」制作委員会プロデューサー、梅原昇福島海上保安部次長、眞鍋昌史同専門官らが訪れました。

燈の守り人は、日本全国の海岸線に建設されている灯台を擬人化し、各地の灯台の魅力を広げることを目指すもので、柴田プロデューサーから立谷市長にキャラクターが贈呈されました。



工夫を凝らした公民館活動を評価

中央公民館

第75回優良公民館表彰の受賞報告は2月6日、市役所で行われました。

同表彰は、特に事業内容・方法などに工夫を凝らした活動を行い、地域づくりなどに大きく貢献している公民館を優良公民館として文部科学大臣が表彰するもので、中央公民館が受賞。

市の公民館が表彰を受けたのは初で、報告を受けた立谷市長は、受賞をたたえました。

銀メダルを獲得 算数・数学ジュニアオリンピック



県算数・数学ジュニアオリンピック表彰報告は2月2日、市役所で行われ、齋藤玲さん（中一小5年）が訪れました。齋藤さんは、令和4年10月23日に行われた同オリンピックで優秀な成績を収め、小学校の部で銀メダルを受賞。報告を受けた立谷市長は、その功績をたたえました。

また、中村第一小学校は、成績などから優秀と認められた学校に贈られる特別賞を受賞しました。

食への関心を高めよう

食育標語表彰式

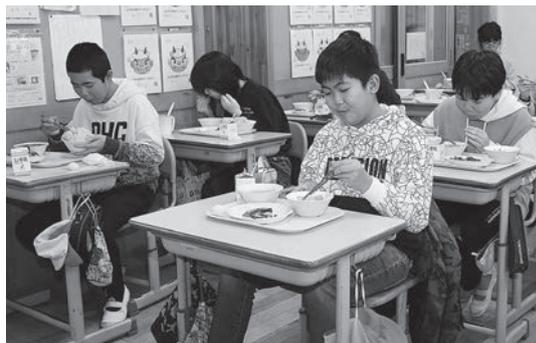
「親子で考えよう！」食育標語表彰式は2月3日、市役所で行われ、入選者15人が訪れました。

市内全ての小・中学校を対象に行われ、小学校1、2、6、9点、中学校73点の応募の中から、入選作品を選定しました。

当日は、福地憲司教育長が「素晴らしい標語を家族で考えてもらったことをうれしく思います」とあいさつし、受賞者に表彰状を手渡しました。



郷土相馬の味を 楽しむ中一小



全国学校給食週間に合わせた地場産物活用給食は1月27日、中村第一小学校の6年生の児童61人を対象に実施されました。

児童らは、相馬産のホッキ貝、ブリ、青ノリなどを使った給食を食べた後、お魚マイスターの加藤修一郎さん、渡部忍さんによる魚の流通や郷土料理の授業を受け、食への感謝と命の大切さを学びました。

※地場産物活用給食は、市内の小・中学校の児童生徒を対象に実施されました。

山上小の児童がそば打ちに挑戦 山上公民館「そば打ち体験学習」

山上公民館少年仲間作り教室「そば打ち体験学習」は1月18日、山上小学校で開催され、同小学校3、4年生の児童が参加しました。

同講座は、そば打ち体験を通じた子どもたちの仲間づくりを目的に、同公民館が主催。参加した児童は、講師の木村貞夫さんと西内俊和さんから、そばのこね方やそば切り専用の包丁の使い方などの指導を受けながら、本格的なそば打ちに挑戦していました。



旅館の板前からカレイの煮付けを学ぶ 中央公民館「相馬のお魚料理教室」

中央公民館「相馬のお魚料理教室」は1月24日、同公民館で開催され、市民8人が参加しました。

当日は、松川浦ガイドの会から2人の講師を迎え、カレイの下処理や煮付け方法を学びました。

参加した市民は、講師の実演を見た後、実際にカレイのうるこやえらを取る下処理を行い、煮付けに挑戦し、相馬産の魚への理解を深めました。

児童センター・子ども公民館フェスティバル

子どもたちが遊びの体験を通して、遊びの楽しさや地域の子どもたち同士に触れ合いを大切にすることを目的に、児童センター・子ども公民館でフェスティバルが開催されました。

▽川原町児童センター



川原町児童センターフェスティバル冬は1月21日、同センターで開催されました。

会場には、スポンジ製のダーツを発射して遊ぶコーナーが楽しめるコーナーなどが設けられ、参加した児童は各コーナーを巡って楽しい時間を過ごしました。また、ガールスカウト県第34団により、児童に抹茶が振る舞われました。

▽東部子ども公民館

東部子ども公民館フェスティバル冬は1月28日、同公民館で開催されました。会場には、バスケットボールや釣りが楽しめるコーナー、ストロー飛行機などの制作コーナーなどが設けられました。参加した児童は、全コーナーを巡ってシールを集め、メモ帳やシールなどの景品をもらっていました。



▽西部子ども公民館



西部子ども公民館フェスティバル冬は2月4日、同公民館で開催されました。会場には、バスケットボールや神経衰弱のほか、釣りが楽しめるコーナー、ペットボトルキャップヨーヨーなどの制作コーナーなどが設けられました。参加した児童は、遊びを通してほかの学年や学校の児童らと交流を深めました。

特別なピアノで自由に奏でる 市民会館ピアノ開放DAY

市民会館ピアノ開放DAY（スタインウェイが弾きたい！）は2月4日・5日、市民会館で行われ22組94人が参加しました。

同イベントで使用されるピアノは、STEINWAY & SONSの高品質なグランドピアノで、株式会社IHIから寄贈を受けたもの。

当日は、30分ごとに1グループがピアノを演奏し、幅広い世代の方々が思い思いの音色を奏でました。



YouTube 相馬市チャンネルからのお知らせ



トピックスの一部は、市公式YouTubeチャンネルで動画を公開しています。下記のQRコードからアクセスし、ご覧ください。

▽ズワイガニ初水揚げ



▽相馬のお魚料理教室

